

平成 28 年 9 月 17 日（土） 鶴山台南校区 参加者 17 名

### 【地域の課題】

市民：昨年 UR の空き家対策についてお話した。これは大きな問題なので、一朝一夕に解決できるとは思わないが、今後ともいろんな角度で行政とご相談しながら進めて行きたい。

次に鶴山台第二保育園について。第二保育園の敷地自体は UR が持っていて、そこを和泉市が借りて第二保育園を運営されてこられたと聞いているが、平成 30 年度に廃園になった暁には、跡地がにどんな構想があるのかとお聞きしたい。鶴山台も、あくまで一つの案だが、信太中学を降りていくと信太校区の老人集会所はあるが、鶴山台全体の中で老人集会所が 1 か所であり、老人が集えるような場所にできないだろうか。他にもっといい方法があるとか、今後とも跡地の有効利用について考えて頂ければ。

もう一点は、認知症とか高齢者のご自宅でその方を介護されているご家族の問題について。ご承知の通りニュース等で報じられているように高齢者介護に疲れた、また経済的負担が大変になった等で、あつてはならないことだが、家で寝たきりの方に暴力を振るわれたとか、いなくなればいいのにと怒ったことがあるとか、危険な状態になっている。こうした話を聞くにあたって、鶴山台南校区としてはそういう悲惨なことが起こってはいけないと考える。認知症高齢者に対する優しいまちづくり、今年の春にあった声掛け訓練など、高齢者に対する手厚い施策がいろいろあると思うが、追い詰められた家族の方に対する目を向ける、こういうことが出来るということを経後も考えて行っていただきたい。また我々地域でできることはやろうということで、今年の 10 月末から 11 月にイベントを企画しており、そこで相談コーナーとか設けようかと思っている。その辺りで行政でそういうことに触れて頂ける部分が何かあればお願いしたい。

市長：UR の空き家対策について、UR も若い人に住んでいただこうと家賃の割引制度を実施している。これも効果を上げてきているとのこと。先ほど申し上げたように鶴山台の街びらきは昭和 46 年、和泉市が破たんしてから 2 年後、昭和 45 年に、その次の年くらいから鶴山台の街びらきが始まり、和泉市のまちづくりが始まった。鶴山台、光明台、和泉中央と。その鶴山台も 45 年経過しており、耐震化してもあと 20 年くらいしかもたないから、そろそろ建て替えるなりの検討が必要だが UR の考え方は同じものを建て替えるのではなくて、集約化も図りながら、新しいまちづくりを進めて行こうという計画もあるとのこと。今、市と UR とは良好な関係にあり、支社長ともコミュニケーション取りながらやっているが、できるだけ早い時期に方針を進めていきたいと思う。

オールドタウン対策として千里中央の方では、今はワンルーム、広いリビングに

するのが若い人の嗜好なのでそうした若い人が住める間取りに新しくリノベーションしている。鶴山台についても、若い人に住んでもらえるように、そんな仕掛けを作っていければと思うが、まだ具体的にはこれからの話。

2点目、鶴山台第2保育園の跡地について、具体的には決まっていない。ご希望としては老人の方が集えるような施設とのこと。老人集会所は各小学校区に1か所ある。今整備を進めており、今一番古いのが南松尾で、そこをどうするか検討しているが、老人集会所と言っても、老人だけでなく地域の小学校区の人々が集まれるように、順次リニューアルを進めて行きたい。鶴山台の場合はURが作った昭和51年で、和泉市全体ではまだ新しい方で、あと10年位たつと建て替えはまたそのころかと。

最後の高齢者の介護疲れ。どのように支援できるかについて、様々なショートステイや、介護者が入るような包括支援センター等いろんな相談をして頂いて、心をリフレッシュして頂くなど、身近な小さなことを積み重ねて頂きたいと思う。たとえば防犯について、平成13年位には非常に街頭犯罪が多かったが、色々と安全なまちづくり教育を進めて行ったところ、その当時の4分の1位に軽犯罪が少なくなった。交通事故で、いぶき野で一人亡くなられ、3年9か月交通事故死ゼロの記録が途切れたが、それもやはり小さな安全の啓発活動もあるので、新記録らしい。そういう小さい積み重ねなので、介護についてもケアする方の心を安らげられる相談をしたり、交流、意見交換をしたり、こまめにやっていくのがいいと思う。そういう相談の仕組みを作りたいと思う。地域の中で支え合って頂くのが一番いいことだが、和泉市としてできることもやっていく。

市民：URの空き家の問題ですが、8地区の階段とか、スペースがぼろぼろ。ペイントもされていない。7地区は割ときれいに塗り替えられている。同じ家賃を払いながら、こういう差があると。UR事務所に言うと、自分で塗ってくださいとのこと。友達が訪ねて来ても、なんかみすぼらしい、汚いということで、自分で塗りがえられたり。この辺の格差・考え方だが、たぶん住民の方々はもう集約化になってこれ以上入居もさせないし、と考えられると、どんどんそこから出て行こうとなる。実際何人か出て行かれた。鶴山台の空き家を解消しながら、リノベーションして対策をぜひやって頂きたい。そうすれば税収も上がるし、若い方も4階5階でも上がっていける。ぜひともリニューアルの空き家対策を緊急の課題として、方向性と対策を示して頂ければ、住んで居る方も安心して住み続けられるかと思う。

市民：私は保育士としてずっと思っていることが1つある。保育待機されている家族さんが多い。喫緊の問題。母親から言わせたら、仕事探そうと思って会社に行くと、会社の方からは子供がちゃんと預けられますかと聞かれる、保育園に聞くと申し込むには勤め先がきっちり確定されないと保育園に入られませんと言われる。これはどういうことかと。私は仕事したいんだけど、仕事できないという若い母親が本当に沢山いらっしゃる。働きたいと思う母親がもれなく仕事をしていただきたい。そのためにはし

っかりと安心安全を確保できる施設が必要だと思う。公立保育園でも私立保育園でもいいが、やはり母親が働く職場に隣接して、ちょっとしたプレイルームとか、預かるという所があれば、母親も安心して暮らせるのではないかと思う。仕事を一生懸命しようと思ったら、預ける事が出来る時間の制限等色々なことがあるが、職場でそういう施設があればどんなに安心して働けるのではないかと思う。また長い時間がかかるかもしれないが、公立や私立の保育園もいいと思うが、やはり職場に病児保育の為に保健師を一人、一つ一つの施設ではなく地域でいけば、ちょっとした病気の子供も預かる事が出来ると思うので、保育する場合は、その面積が決まっており、それを緩和する方向については賛成に思うが、できれば職場に保育園を設置出来ないのかと思う。

市長：ただ今おっしゃった、就労証明が無ければ申し込めないということについては変わった。去年の子ども・子育て関連三法というので、小規模の保育所の助成など国が制度を変えている。保育は幼稚園の場合は教育、保育は福祉の一環である。あまり使われないと思うが、「保育に欠ける」という表現をするが、こどもを育てていけない、家庭内保育ができない方の福祉が、保育園。保育園に入られる子供は就学前児童の約3分の1位と思う。3,500人位の方、30%位のこどもが保育園に行かれてる。後の70%が幼稚園へ行かれる。0歳児から5歳児までの30%のこどもが行かれているということで、就労しないでも入れるようになる。ただ、保育園にも点数があり、点数をつける。ご近所に見てくれるご両親がいない、保護者とこどもだけで誰も預けられないようなところが、一番点数が高い。職場復帰しなければならない、誰も見てくれる人がいないとか、たとえばお父さんが正規の職業で9点、お母さんも正規の職業で9点で18点と。その高い点数の子から入園していくと。お母さんがアルバイトとか正規の仕事をしていないというと2点とか3点低くなり、母子家庭等で加点されたりとか、その点数の高いこどもから入れると。上のこどもさんから取って行って、点数の低い人は入れないということはあるが、今は母親が選びさえしなければ仕事をしなくても、入れるような仕組みになっている。昔はそういう方は応募できないという仕組みだったが、変わってきている。

また、企業の中でプレイルームという話だが、公立の場合こども1人に対して、市が保育園に年間約150万円の税金を投入している。保育料は約1万円～5、6万円まで支払っていただいているが、それ以上にそれだけ払ってもまだ150万円必要で、民間の保育園の場合、看護師がいなかったり、先生の数が公立ならゼロ歳児は3人に1人が、民間の場合4人に1人とか、民間の場合も一人当たり70万～80万円を市から助成している。プレイルームを作ったり、給食室等を作らないと保育できない。テクノステージの会社でもそういう取り組みをしたところもあったが、20人預かって、市から助成がなければ、会社として1人70万とすると、年間1400万いると。企業からすれば取り組みにくいかなという所がある。しかしそういう基準を満たされたプレイルームを作って頂けるんだったら、市としては取り組みをしていきたいと思う。

なかなかパツと思うことも実際に取り組んでみると色々と障害があり、企業もいろいろと段取りしていただかないといけないところある。

#### 【市長との意見交換】

市民：さっき第二保育園の跡地を老人集会所にという話があったが、下に活断層が通っており、熊本地震で震度7だったが、その規模だと崩れると思う。その活断層は中学校に行っていて、活断層の上に結構家が立っている。活断層があるので家を建てて何かあったら危ないですよ、などと行政からおっしゃってもらえないのか。

市：それは個人のことなので。

市民：覚悟して住んでくださいとか。今はネットでここに活断層がありますよと載っている。それともう一つは、学校のトイレを洋式にするという話だが。

市長：すべてではないが。

市民：地震が起こったら学校へ避難するが、下水管が壊れたら、学校のトイレは使えなくなる。仮設トイレが必要になる。仮設トイレは大体和式なのだが、和式だと老人は用が足せない場合があるので、洋式の仮設トイレを用意してもらわないといけないと思う。

市長：そうですね。そういうのがあれば。

市民：先ほどの第二保育園の廃園後の跡地の有効利用については、一つのたとえでお話をしたので、そういうことで役所と地元の我々自治会とでいろいろと打ち合わせの場なりを設けて頂けたらと申しあげたので、よろしくお願いします。以上です。

市長：URの土地なので、何ができるかはまだわからない。

市民：遊園地について。はつが野の新しい住宅とかありますが、小さい子に遊園地とか作られるかと思うが、アメリカのブランコは小さい子が首さえ座れば安心して1人で座れる。母親がこどもをだっこして一緒に座るということはない。母親のおなかが大きくて、さらにこどもをだっこしてというのは危ないと思う。和泉市の議員が視察に行かれる際、そういったものを見て来ていただければ安心して遊ばせられる遊園地がいっぱいあると思う。日本のは貧弱だなと思う。少子化であり、こどもを増やしたいということだったら、小学校ばかりではなく、それも大事。小さい所の安全対策をぜひ考えてもらいたい。下はスポンジのようになっていて、こけても危なくない。大したお金ではないと思う。危ないから取り外すことばかり考えられてそれでは育たないと思う。

市長：あまりそのような公園のイメージがないので、国内での例を参考にしながらネット等で調べてみたい。

市民：ゴミ袋有料化になって、それはいいが、5L、10L、25Lとあって、30の袋の種類がない。40はマチがあつてたっぷり入って、まだ入るのにもったいないと近所の人も言っている。

市長：それはよく言われる。私もそう感じており、子供も結婚して2人しかいない。20L

だと入らないで、30L位だと入りやすいと思う。次回発注するときには30Lを発注します。

市民：5Lの袋は必要か。

市長：高齢者の方から必要だというお声がある。

市民：昨年校区長会議でごみ袋の件が出たんですが、30Lの袋の件、つい先だってお尋ねした時も検討しておくということだった。前回のロットがはけたときに次の発注ロットで作るということですね。経過、対応策をもう少し早く、そういうことになっているなら、地域の方々にちゃんと伝えていくてくれたらいいのと思う。

市長：要望を頂いており、集約していくということ。具体的には決まっています。

市：市長が次の袋を作るときにはとっておられるが、市長の思いとしてはそう思っておられるということ。担当課が基本的には30Lは作ると決めています、市としていつからという決定までは至ってなく、方向としては作ることに間違いはないですが、費用的な問題もクリアしたうえで進めていくと。

市長：結構ゴミ袋が高いという意見があります。今回発注かけると1億5千万位。

市民：でもみんなからお金取っているが。

市長：ゴミを焼却するのに25億円位、市が負担しているので、そのお金もそちらへ回しており、ゴミ袋で儲けているわけではない。

市民：儲けてるとはいわないが。

市民：北部リージョンセンターを作って頂いてありがとうございます。

市長：北部リージョンセンターは、去年の7月にできた。

市民：私もたびたび使わせて頂いている。講演会もある。あと、北信太駅前整備の事、選挙のとき候補者が言っておられたが具体的には進んでいない。一部用地買収も進んでいるともおっしゃったが。

市長：バスの回転場とかはかなり以前に進んでいますが、最近、動きは止まっています。

市民：その点、ご説明が無かったので聞きたい。

市長：整備の予定はあり、少しでも前へ進めていこうということで、駅前の整備の前に、西口のバリアフリー化を進めて行こうと。西口を3年前に作り、バリアフリー化を進め、車いすも通れるようにしたが、肝心のエレベータがついてない。東側から来られた車いすの方は、駅員に車いすを担がれていくか、それか南側の踏切まで来て回っていくかであり、かなり遠い。エレベータをつける場所が駐輪場の非常階段のところにしつけられない。非常階段を撤去するわけにはいかない、今のところはエレベータを設置できないが、将来的には駐輪場も耐震化しないといけないので、これを撤去して、まずそこにエレベータをつける。駐輪場を撤去すると、自転車やバイクをどこに停めるのかといった問題が生じる。それをまず整理して、駐輪場をつぶしてロータリーを作って、車も停められるようにと、計画をしている。これが出来たら、北信太駅前線、南海バスの回転場。こういう計画である。(図を示しながら)これが貝吹

山古墳で、30号線のこのあたりで、赤の部分が北信太駅前線の計画で、15年位はかかるかと思いますが、店舗等の物件保障、用地買収が一番時間がかかる。和泉市の駅前再開発でも用地買収が一番時間がかかった。土地をってる人と建物を借りている人、権利が錯綜してそれが整理できない。ってる人と貸している人との間に市が入って行って、それを解除しないといけない。そういう用地買収と物件保障が時間かかるので、大体15年位の見通しで進めて行こうかと。これまで着手できていなかった北信太駅前線だが、URが宅地開発を開始した40年前からの計画が手つかずのまま、それを15年位でやろうということで時間もかかるが、ご理解いただきたい。よろしくお願ひします。